

30. 檜洞丸 (神奈川県西部 標高 1600m)

檜洞丸は 1600m の標高を持つ丹沢主稜のひとつです。スマレが咲き始める 4 月～6 月、9 月から紅葉が見られる 11 月まで楽しめます。私はシロヤシオが咲く 6 月をお奨めします。小田急線新松田駅から富士急バスに乗り西丹沢バス停で下ります。東沢の橋を渡り先に進むと右側につつじ新道に入る登山口の道標があります。

小さなアップダウンを繰り返す尾根道を歩き、オオバアサガラの林を抜けるとゴウラ沢出合に出ます。ここで一息入れてこれからの急な登りにそなえるとよいかもかもしれません。

石段を登り山道に入るとキッコウハグマの株や、ツルリンドウの白い花、コアジサイの花が足元で見られます。

標高 1000m を過ぎるとブナの大木が見られますが、近年立ち枯れが目立ちその姿も哀れなものがあります。さらに次代を受け継ぐべき、幼木も若木も少ないのが残念です。

木々の新緑とともに、トウゴクミツバツツジ、シロヤシオが咲き始めます。1995 年 6 月 10 日～11 日ふれあい山岳探鳥会で丹沢主稜を歩いた時、30 年振りの花付をみせたシロヤシオはまさしく雪をかぶったように全山真白に咲き乱れていました。

展望園地から続く急な山道も、この季節ツツドリ、ホトトギス、ジュウイチ、ヤブサメなどの夏を告げる鳥、コマ

ドリ、オオルリの囀り、葉陰で見え隠れするセンダイムシクイ、メボソムシクイ、コルリの声を耳にすると疲れも和らぐ気がします。頂上近くになると、木のガッチリした階段になります。色々な原因で登山道がどんどん崩壊してきています。これ以上痛めないために登る者として登山ルールを守るのは当然ですが、何か打つ手はないのでしょうか。

一面オオバアサガラの上の木道を過ぎ、登りきった所が頂上です。山小屋の青ヶ岳山荘は、蛭ヶ岳側へ 2～3 分下った所にあります。頂上からの展望は犬越路側に立つと富士山、西丹沢、箱根方面の山々が見られます。

帰りは、変化をつけて箒沢へのルートを下ります。石棚山分岐までは来た道を下り、ユーシン分岐まで来たら石棚山への道をとります。登りの時には、立ち枯れが目



シロヤシオ

コースタイム

西丹沢自然数室～登山道入り口～ゴウラ沢出合い～展望台～檜洞丸～石棚沢分岐～石棚山～箒沢公園橋～箒沢バス停

地形図：1:25,000 中川 案内図：丹沢（昭文社）

季節

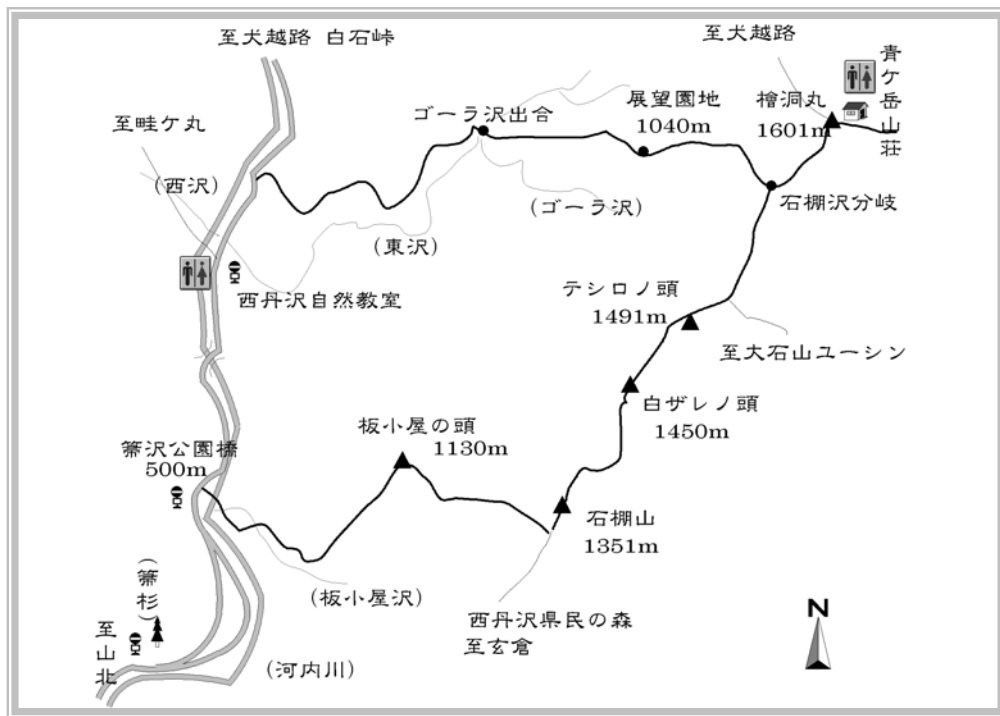
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

30. 檜洞丸 (神奈川県西部 標高 1600m)

立ったブナの木々もテシロノ頭を過ぎたあたりから元気な姿で林立しています。板小屋沢までは急な下りになります。えん堤を越え左岸の山道に再び入り、箒沢公園橋を

渡ると県道に出、バス停は橋の脇にあります。箒沢バス停近くには県天然記念物の高さ 45m の箒杉が立っています。

(神戸 邑)



観察できた鳥

1999.6.29 (21種)

ホオジロ・ウグイス・カケス・ヤブサメ・オオルリ・ミソサザイ・キセキレイ・コガラ・ヤブサメ・ヤマガラ・シジュウカラ・ジュウイチ・コルリ・ルリビタキ・ゴジュウカラ・アカガラ・ビンズイ・ホトトギス・アカハラ・アオバト・エナガ

1997.6.15 (21種)

キセキレイ・ヒヨドリ・ヤマガラ・ヤブサメ・カケス・オオルリ・ミソサザイ・ウグイス・センダイムシクイ・コガラ・コマドリ・ホトトギス・ツツドリ・ジュウイチ・コルリ・エゾムシクイ・イカル・アカガラ・ルリビタキ・アカハラ・クロジ (ツツドリのデュエットを聞いた)

1995.6.10~11 ふれあい山岳探鳥会 (40種)

オナガ・ヒヨドリ・ムクドリ・スズメ・シジュウカラ・コジュケイ・カケス・イツバメ・キジバト・メジロ・ウグイス・ツツドリ・イカル・ホオジロ・ヤマガラ・ヤブサメ・ホトトギス・トラツグミ・ヒガラ・コガラ・アオバト・オオルリ・アカガラ・コマドリ・メボソムシクイ・コルリ・ルリビタキ・マミジロ・ジュウイチ・ハシボソガラス・センダイムシクイ・ミソサザイ・アオガラ・ゴジュウカラ・ビンズイ・コガラ・エゾムシクイ・ソウシチョウ・アカハラ・オオアカガラ

あし

- ・行き 小田急線新松田駅 / JR御殿場線松田駅下車 富士急行バス 西丹沢行き 終点下車
- ・帰り 箒沢バス停 富士急行バス 小田急線新松田駅 / JR御殿場線松田駅
- ・交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照